



環境美化活動の模範となる団体などに小沢市長から感謝状を贈呈

市は、市環境衛生大会を8月21日、胆沢文化創造センターで開催しました。本大会は、住みよい生活環境を実現するため、市と市公衆衛生組合連合会（千田祐会長）の共催で毎年開催しているものです。

この日は、約250人の市民が来場。開会に当たり、小沢昌記市長からの感謝状贈呈などが行われたほか、ニココー・ファイレンメック（株）の熊谷裕徳取締役常務を講師に迎え、小型家電リサイクルの取り組みについての講演が行われ、来場者は環境衛生に対する意識を高めました。

「地球環境を考えたまちづくりを」



消防団による中継送水訓練

市は、9月1日の防災の日になみ、「市総合防災訓練」を8月31日、水沢区の水沢公園や各地区センターを会場に、震度6強の地震を想定して行いました。

この日は、災害時における対応能力を高めようと、各地区自主防災組織の役員や、消防団、防災関係機関の関係者など約1500人が参加。各地区センターに避難所が設置され、心肺蘇生法や消火器の講習が行われたほか、同公園では火災を想定した消火訓練などが行われ、参加者は災害時の対応について再確認しました。

「防災力の向上目指し訓練」



お盆を故郷で過ごす帰省客にパンフレットを配布

市と市地域6次産業化ビジョン策定チーム（後藤大助代表）は8月9日と13日、首都圏などからの帰省客に対し、トライアルプロジェクトで作成したパンフレット「食の黄金文化・奥州 お土産・観光ガイド」の配布を行いました。

同パンフレットは、市内産の食材を使って製造された土産や、市を代表するお土産品を広く紹介するために作成。配布が行われたJR水沢江刺駅では、市内の観光団体も協力し、市内の観光地やお土産品などをPRしました。

「本市ならではの土産をPR」



政策提言の発表を行う学生

市は、8月3日から8日までの6日間の日程で、早稲田大学公共経営大学院フィードバックの受け入れを行いました。ことで5年目を迎えた今回は「家庭ごみ減量に向けた取り組みについて」がテーマ。市への政策提言に向けて市職員も参加しての研究活動を行いました。

最終日の提言発表会には、小沢昌記市長はじめ多くの市職員のほか、一般の参加者も聴講。学生たちは、ごみの削減目標を可視化した排出方法や、ごみステーション設置基準の見直しなどを提言しました。

「学生の視点で研究し政策提言」

広瀬振興会

- 代表者：会長 菅野 範正
- 人口：1,307人（男 661人／女 646人）
- 世帯数：427世帯
- 拠点：広瀬地区センター
（江刺区広瀬字柿ノ木443番地4 ☎☎☎ 2111）
（平成26年8月31日現在）

郷土芸能を地域づくりの柱に。現在、無形民俗文化財として県指定を受けている鴨沢神楽をはじめ、鹿踊や剣舞、人形芝居、歌舞伎、奴踊など13団体が活動しています。

広瀬振興会は、平成元年4月に旧江刺市10地区の先駆けとして発足しました。体育協会や防犯協会など各種団体で



芸能発表会で披露された軽石薩摩奴踊



地区民が芝生を張って公園を整備

を生かしながら、東屋を設置したり花木を植えたりして環境を整備。その名称も地区民の公募によって決めた同公園は、ウォーキングの目的地やグリーンツーリズムで植樹を行うなど、地区全体のスポットとして活用されています。

もう一つは、青谷観音サクラを守る会が主体となって整備した「青谷観音公園」です。推定樹齢400年、地区の宝でありシンボルでもある青谷観音境内のヤマザクラの周囲に東屋などを整備。シーズンにはライトアップも行うなど、近隣から多くの人が訪れる見事な景観が作り出されました。

郷土芸能と豊かな自然。地区の宝が地区民の手で脈々と受け継がれています。

結 -ゆい-

28

～ 30の地区振興会による協働のまちづくり実践事例 ～

特色のある地区振興会の事業を紹介するこのコーナー。シリーズ28回目は、江刺の広瀬振興会を紹介します。

広瀬地区は、江刺区の北部に位置し、北上市口内町との境をなす高岩山と根岸山をはじめ、万松寺山や月山、高見岳などの山々に囲まれた、緑豊かな純農村地帯です。これらの山々は水源林として地区を潤し、地区中央を流れる広瀬川の両端には、古くから豊かな水田地帯が形成されてきました。主産物の米はもちろ

■郷土芸能伝承の郷

地域のキャッチフレーズを「人と自然・光り輝く郷土芸能伝承の郷」として、地区郷土芸能保存会と連携しながら、地域全体で保存と継承に取り組んでいる同振興会。「広瀬地区芸能発表会」と「広瀬地区

■公園整備事業

同地区では、地区民自らの手で憩いの場を整備しようという動きが広まっており、平成24年から26年にかけて2カ所の公園が整備されました。

一つは、宝岩寺自治会が中心となり整備した「宝の森公園」。数年前まで荒れ放題だった山に手を入れ、自然林



新たな憩いの場となった「宝の森公園」